

地域社会からの信頼

社会貢献活動

山陽特殊製鋼グループは、社会とともに発展することを目指し、積極的に社会貢献活動を展開しています。

山陽特殊製鋼文化振興財団

当社設立60周年記念事業の一環として1993年に設立された当社文化振興財団は、その活動実績が公益目的事業と認められ、設立20周年という節目を迎える2013年4月に「公益財団法人山陽特殊製鋼文化振興財団」に移行しました。これにより、今まで以上に公益事業を充実させることができるようになりました。

同財団は、地域文化の振興に寄与することを目的に、コンサートや有識者による文化講演会などを毎年開催しています。

また、兵庫県下の大学および大学院の理工系学部、工業高等専門学校に所属する研究者を対象に、ものづくり文化の高度化とその発展に資する技術研究への助成を行っています。

ニュー・イヤー・コンサートの開催

子どもたちに音楽の楽しさを肌で感じてもらうことを目的に「ニュー・イヤー・コンサート」を毎年開催しています。2014年1月のコンサートでは、姫路市内の小・中学校9校と団体1組が、合唱や吹奏楽の演奏を披露したほか、声楽家による独唱・二重唱が披露されました。



ニュー・イヤー・コンサート

文化講演会の開催

2013年5月に、株式会社独立総合研究所代表取締役社長兼首席研究員の青山繁晴氏を講師に招き、「祖国と、日本経済は甦る～領土危機、大震災、世界不安からこそ～」と題した講演会を開催。約800名の聴講者が参加しました。



文化講演会(講師:青山繁晴氏)



文化講演会(講師:玉岡かおる氏)

また、2013年11月に、作家の玉岡かおる氏を講師に招き、「七転び八起き 不滅の日本の産業力 よみがえり続けた歴史のうちに」と題した講演会を開催。約500名の聴講者が参加しました。

次代を担う人材の育成支援活動

当社では、大学の講座への協力やインターンシップ生の受け入れなどを通して、次代を担う人材育成を支援しています。また、就職活動中の学生などを対象に、随時、工場見学なども実施しています。

九州大学での特別講演

2013年7月に、九州大学で当社常務取締役(当時)の磯本辰郎が特別講演の講師を務めました。一般社団法人日本鉄鋼協会が推進する「企業経営幹部による大学特別講座」の一環として、工学部一年次生200名に対して特殊鋼に関する講演を実施し、学生に自身の経験をもとにしたエールをおくりました。また、大学の要請で材料系の大学教員・研究者・院生・学生など70名を対象とした講演も行いました。



九州大学での特別講演

インターンシップ

2013年9月に、インターンシップの学生5名が2週間の就業体験を行いました。参加した学生からは、「仕事の雰囲気を感じることができ、働くということがイメージできた」などの前向きな感想が多く寄せられました。



インターンシップの様子



工場見学会を継続して開催

子どもたちの育成支援と「当社のファンになってもらいたい」という思いから、小学生向けの工場見学会を2011年度から開催しています。

2013年度は姫路市内の小学校の5年生約170名を迎えて実施しました。子どもたち

に人気が高い鋼片圧延工程の見学では「鉄が延ばされていくのが面白い」といった感想が寄せられたほか、見学後には多くの質問が飛び交いました。スライドで当社を紹介



子どもたちに人気の鋼片圧延工程

小学校のマラソン大会にゲスト参加

当社の陸上競技部の選手が地域貢献活動の一環として、姫路市内の小学校のマラソン大会にゲスト参加しました。実業団の第一線で活躍する選手の参加で、大会は大いに盛り上がり



小学校マラソン大会

地域美化ボランティア活動

山陽特殊製鋼グループ従業員による工場近郊の清掃活動を2013年6月と11月に実施しました。

これは地域への貢献活動の一環として例年実施しているもので、延べ約300名の従業員が本社工場近郊の清掃を行い、地域美化に貢献しています。

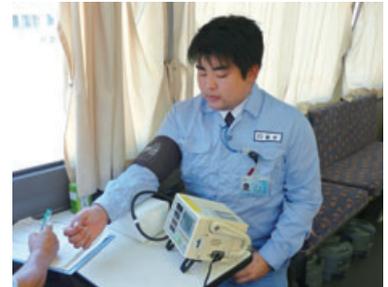


地域美化活動

献血活動

当社では、定期的に献血活動を行っています。2013年度は、延べ451名の協力で180,400mlを献血することができました。

輸血を必要とする人々が増加し、全国的に血液不足となっているなかで、当社は今後も献血活動を通じて社会に貢献していきます。



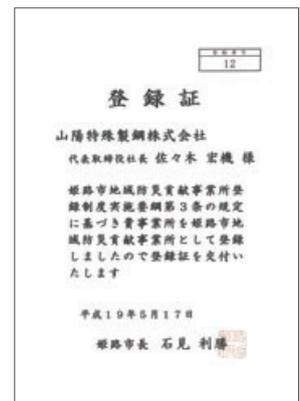
献血活動

地域防災への貢献

地域防災貢献事業所として登録

当社では、姫路市制定による「姫路市地域防災貢献事業所登録制度」の趣旨に賛同し登録を行っています。

この制度は、地域防災の貢献に意欲のある事業所を登録・公表し、従業員や地域住民の防災意識の啓発を図るとともに、災害発生時には事業所の持つ能力を重要な防災力として活用することにより、地域防災力を向上させることを目的としたものです。



地域防災貢献事業所 登録証

「消防団協力事業所」として認定

地域防災活動の中核である消防団は、団員数が年々減少傾向にあるため、消防庁では「消防団協力事業所表示制度」を導入・推進しています。

この制度は、消防団協力事業所が勤務時間中の消防団活動への便宜や従業員の消防団への入団促進などを行うもので、事業所の協力により地域防災体制の一層の充実を図ることができます。

当社は「消防団協力事業所」として姫路市から認定を受けています。



消防団協力事業所 表示証交付書